



認定特定非営利活動 (NPO) 法人 柔道教育ソリダリティー



Newsletter 最終号 (25)

Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①コンゴ出身難民選手のボボルさん(東海大学) ②コーチングセミナー2018広島研修
③ID柔道安全指導研究会(横浜市) ④感謝の会(東京・品川)

国際的な柔道の普及、「自他共栄」を実現するために

Promoting mutual prosperity through the international spread of judo.

オリンピックスポーツとして世界の多くの人に愛好されている柔道。国際柔道連盟(IJF)には、200を超える国と地域が加盟しています。本法人は、講道館柔道創始者、嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えています。

柔道を通し日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

Passing on the spirit of Japanese judo by enabling cultural exchange
with various countries.

現在の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差拡大、人口増加など問題が山積みです。そんな状況の中、多くの発展途上国では柔道指導者、柔道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。本法人は支援活動を展開し、柔道を通して日本の心を伝え、多くの国、地域との文化・スポーツ交流を推進します。

今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

Finding the best way to help children develop is what is important now.

本法人は、柔道を通して人間教育を実践します。特にこれからの社会を担っていく青少年の育成は、何よりも重要です。柔道によって、元気で明るく、たくましい子どもたちを育て、その輪を広げていきます。



特定非営利活動法人
柔道教育ソリダリティー

特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報 最終号(第25号)

2019年8月1日発行 Published 1st of August 2019

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 25



柔道教育ソリダリティー

検索

感謝の会 冒頭の挨拶より

これからも柔道を通した活動は続きます

本日は、前防衛大臣・小野寺五典様、講道館館長・上村春樹様をはじめ、私どものNPO法人が13年間、お世話になりました多くの皆さまにお集まりをいただきました。13年もの長きに渡って柔道教育ソリダリティーの活動にご支援を賜り、誠にありがとうございました。心から御礼を申し上げます。

13年前に、東海大学湘南キャンパスにある私の研究室の半分を使って立ち上げたNPO法人ですが、当初は、今日もお越しいただいている私の恩師・佐藤直踐先生が展開しておられた「リサイクル柔道着の発展途上国への送付を通じ、柔道をやりたくても出来ない人々を支援する活動」を継続して受け継いでいく、それが中心でございました。我々が予想した以上に、多くの皆さまや企業様にご支援をいただけたことで、これも我々の予想を遥かに超える様々な活動が展開できたと思っております。

ご支援をいただきました今日お集まりの皆さま、そして、外務省、国際交流基金、JICA、講道館、全日本柔道連盟、東海大学、こういった方々のお力添えが無かったら、この13年間の活動の歩みは無かったと思います。

柔道を通した日本とロシアの交流、あるいは中国の青島、南京での柔道館の開設、イスラエルとパレスチナの指導者の受け入れや派遣、あるいは世界の国々の指導者を集めたコーチングセミナー、ひとつひとつが私にとっても非常に貴重な、大きな財産になったと思っております。本法人は今日、先ほどの総会で、活動を閉じることを決議いたしました。しかし、その精神は、これからも繋いで参りたいと思っております。

私は現在、全日本柔道連盟の会長を仰せつかっております。全日本柔道連盟としてやれることは限られておりますが、多くの日本の柔道関係者を巻き込んで、柔道を通した国際支援や国際交流をやっていきたいと思っております。また、日本オリンピック委員会の選手強化本部長を務めています。柔道だけではなく様々な種目の国際競技大会などで海外に出かけております。去年の平昌(ピョンチャン)オリンピックでは、スピードスケートの小平奈緒選手と韓国の李相花(イ・サンファ)選手という日韓トップ

選手の交流が話題となりました。こういう国際交流を、日本のスポーツ界でもこれからもっと大切にしていきたいと思っております。

先ほどのNPO法人の解散総会でも冒頭にお話しましたが、私の教え子で、いま全日本柔道男子監督を務めている井上康生監督が、この4月から新しく「JUDO's」というNPO法人を立ち上げました。1月に私のところに来て、「先生が3月でNPO法人の活動を停止されます。今後は全日本柔道連盟で事業を進められると思います。しかし、中にはNPO法人だからこそ実現できる事業もあると思います。そういった活動を私が引き継ぎたい」と話しました。井上先生には後援会組織があり、「その組織を発展的に解消してNPO法人を立ち上げたい。そこで受け継いでもよろしいでしょうか？」との申し出でした。

本心から、涙が出るくらい嬉しかった。

嘉納治五郎先生、あるいは東海大学松前重義先生の「柔道を通して世界の国々を繋ぐ」という精神。そして、柔道を通じて「柔らの心、和の心、日本の心を世界に伝えていく」というお考え。「戦う相手は敵ではない。柔道で最も大切なのは戦う相手に対する敬意である。本当の真の柔道家とはただ強いだけではない、柔道を通して学んだことを生かして、よりよい社会作り貢献することである」。こういった嘉納先生、松前先生から学んだ精神をこれからも大事にしながら、私も若い人と共に歩んで行きたいと思っております。

私どものNPO法人は本日、幕を閉じますけれども、違う形で、これからもこの精神を受け継いでいきたいと思っております。大変ご多用の中、今日のご参集いただきまして、ありがとうございます。心からの感謝、御礼を申し上げます、冒頭の挨拶とさせていただきます。

特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

理事長 山下春樹



「感謝の会」にあわせ、柔道教育ソリダリティー13年間の活動をまとめた記念誌「The Story of SIJE」を発行し、記念バッグと共に配布しました。

主な活動 - Major Activities - (2018年7月～2019年6月)

2018年

7月



7月17日、柔道体験教室を開催



7月19日～25日、アメリカチャールストンへ田知本愛さんを派遣



7月23日～28日、ウラジオストクで柔道教室を開催

8月



リサイクル柔道衣50がエチオピアに到着



リサイクル畳400枚をエルサルバドル・サンサルバドルに送付

9月



9月12日、ロシア・ウラジオストク「嘉納治五郎記念大会」を視察

10月



10月22日～30日、トルコ・アンカラで、シリア難民の子ども達を招き、柔道教室を開催。

2019年

11月



11月11日～12月2日、コンゴ出身のボボル選手を受入



11月8日～12月7日、11カ国15名の指導者を受入れコーチングセミナー2018を開催



11月29日～12月5日、中国・日中南京柔道館に甲斐康浩氏を派遣

1月



リサイクル柔道衣60着がコロンビアに到着

2月



2月13日～3月13日、ポツワナよりガビン選手を受入



2月13日～20日、ボスニア・ヘルツェゴビナでコーチングセミナーを開催

3月



3月16日～4月4日、アメリカ・アナポリス等に、川上智弘氏を派遣

4月



4月14日バリ島仙石道場の子ども達が日本での大会出場

5月



リサイクル柔道衣50着がセネガルに到着



5月30日、第13回通常総会及び感謝の会を開催。本法人解散が決議された

6月



リサイクル柔道衣50着がインドネシア及びブータンに到着



リサイクル柔道衣50着がトルクメニスタンに到着

柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業

世界の柔道仲間へ！リサイクル柔道衣・畳を支援



エルサルバドル

El Salvador

2018年3月に送付したリサイクル畳400枚が、エルサルバドル・サンサルバドルのサンマルティン道場に寄贈されました。この道場は、コーチングセミナーに参加したリチャード氏（2016年）、マリオ氏（2018年）が指導を行っている道場です。



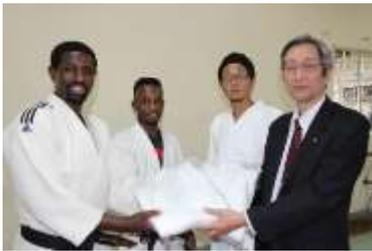
2018年8月22日、エルサルバドル・サンサルバドル市のサンマルティン道場に畳が寄贈されました。寄贈式には、在エルサルバドル樋口和喜特命全権大使、サンマルティン市リバラ市長、エルサルバドル柔道連盟チエベス会長など約200名が参加しました。

リサイクル畳は、今後サンサルバドル市のサンマルティン道場、サンタテクラ市スポーツ協会道場、ロウルデス道場、ソル・ナシエンテ・スポーツ庁道場の計4か所で使用されます。



エチオピア

Ethiopia



2018年6月に送付したリサイクル柔道衣50着及び畳100枚が、同年8月にエチオピア・アジス・アベバに到着しました。

2018年8月17日、外務省のご協力の下、エチオピア首都アジス・アベバにて引き渡し式を開催しました。在エチオピア日本大使館より内田晃臨時代理大使が出席され、ユベントススポーツクラブ副会長のアルベルトエルミ氏やスポーツクラブの皆さんへリサイクル柔道衣を手渡しました。

この柔道衣と畳は、2018年11月17日、エチオピアのユベントス柔道クラブで柔道大会が開催されました際にも利用され、広くエチオピアで利用されています。



コロンビア

Columbia



2018年9月に送付したリサイクル柔道衣60着が、2019年1月にコロンビアに到着。コロンビア日系人協会の皆さんに届けられました。

2019年1月19日、コロンビア日系人協会本部の道場にて、リサイクル柔道衣の供与式が開催されました。この柔道衣は、外務省のスポーツ外交推進事業の支援の下、輸送されました。供与式には、日系人協会でも柔道及び空手を学んでいる子ども達約12名、関係者など約25名が参加しました。日系人協会では、日本の伝統文化として武道を重要視しており、武道教室には、日系人だけでなくコロンビア人も多く参加しているそうです。



ナイジェリア

Nigeria



2018年9月に送付したリサイクル柔道衣50着及び畳100枚が、2019年2月にナイジェリアに到着しました。

リサイクル柔道衣50着は、在ナイジェリア日本大使館のご協力の下、首都アブジャから11時間かけ車で輸送され、ラゴスに到着しました。2019年2月5日、ナイジェリア警察ラゴス警察学校の柔道場で贈呈式が開催され、現地TV局からも取材を受けました！



セネガル

Senegal



2018年10月に送付したリサイクル柔道衣50着が、2019年5月セネガルのSEMBE道場に届きました！この道場は、元研修生のディジュ・オタンスさんが立ち上げた道場です。

本法人元研修生のディジュ・オタンスさんの要請を受け、リサイクル柔道衣50着をセネガル・カザマンズのAssociation Kassofo SEMBE道場に送付しました。ディジュさんは、東京オリンピック出場を目指して練習に取り組んでいます。



インドネシア

Indonesia



2019年6月、インドネシア・バリ島の仙石道場へリサイクル柔道衣19着を贈呈しました！

2019年6月、インドネシア・バリ島の仙石道場(BALI-INDONESIA Sengoku International Judo Hall)にリサイクル柔道衣19着を贈呈しました。こちらの柔道衣は、バリ島を訪問していた須貝等氏が、手荷物として運んだものです。

仙石道場の子ども達は、2019年12月に福岡で開催されるサニックス旗福岡国際中学生柔道大会出場に向けて、練習を頑張っています！



ブータン

Bhutan



2019年3月に送付したリサイクル柔道衣50着が、6月にブータン・ティンブーに届きました！

2019年3月にブータンに送付したリサイクル柔道衣50着が、6月に現地に届きました。JICA青年海外協力隊でブータン柔道協会コーチとして活動している歌代勇祐氏を通じ、現地の子ども達に贈呈しました！



トルクメニスタン

Turkmenistan



2019年3月に送付したリサイクル柔道衣50着が、6月にトルクメニスタンに届きました！

2019年6月、リサイクル柔道衣贈呈式が在トルクメニスタン日本大使館及びトルクメニスタン柔道連盟の協力の下、チェス・チェッカースポーツ学校において開催されました。コーチングセミナー2018研修生のロブシェン氏の活動する道場にも配布されました。

リサイクル柔道衣・畳支援の活動は、JUDO sに引き継がれました！

リサイクル柔道衣・畳の支援事業は、2019年4月に設立されました特定非営利活動法人JUDO s(ジュウドウズ)に引き継がれました！引き続き、使わなくなった柔道衣を募集しております。洗濯した柔道衣を上下(帯)をセットにして、JUDO s事務局宛にヤマト運輸又は佐川急便で着払いでお送り下さい。畳をご寄付頂ける団体等がございましたら、事務局0463-58-1211(内線3530・3524)までご連絡ください。



〒259-1292 平塚市北金目4-1-1
東海大学 柔道研究室内
NPO法人JUDO s 宛

柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業

リサイクル柔道衣 13年間の記録

2006年から2019年までの13年間、リサイクル柔道衣10,277着、リサイクル畳2,519枚、計84カ国に送りました。外務省、国際交流基金、国際協力機構、全日本柔道連盟、スポーツ庁、自衛隊、早川繊維工業(株)、ミズノ(株)などたくさんの団体のご協力をいただきました。

Donations of 10,277 recycled judo uniforms and 2,814 mats were sent to a total of 84 countries between 2006 and 2019 with the cooperation of a number of organizations including; the Ministry for Foreign Affairs, the Japan Foundation, the Japan International Cooperation Agency, the All Japan Judo Federation, the Sports Agency, the Self Defence Force, Kusakura Co.,Ltd and Mizuno Corporation.

アフリカ Africa

国名	着数
アンゴラ	5
エジプト	60
エチオピア	100
ガーナ	50
ギニア	180
ケニア	9
コートジボワール	100
コンゴ	100
ザンビア	144
ジンバブエ	50
スーダン	5
スワジランド	200
セネガル	50
タンザニア	400
チュニジア	100
ナイジェリア	150
ナミビア	44
ニジェール	100
ベナン	50
ボツワナ	250
マダガスカル	200
マラウイ	117
マリ	100
南アフリカ	52
モザンビーク	248

25カ国 2,864

アジア Asia

国名	着数
アフガニスタン	50
アラブ首長国連邦	20
インド	525
インドネシア	177
カンボジア	150
キリギス	100
シリア	150
スリランカ	50
タイ	120
中国	230
トルクメニスタン	50
トルコ	50
日本国内	150
ネパール	350
パレスチナ	98
バングラデシュ	106
東ティモール	4
フィリピン	60
ブータン	250
ベトナム	73
マレーシア	120
ミャンマー	100
モンゴル	220
ラオス	471

24カ国 3,674



ヨーロッパ Europe

国名	着数
イスラエル	20
ウクライナ	100
ボスニアヘルツェゴビナ	50
モルドバ	70
ロシア	130

5カ国 370





中・南米 Central & South America

国名	着数
アルゼンチン	80
ウルグアイ	50
エルサルバドル	380
キューバ	150
グアテマラ	100
コスタリカ	230
コロンビア	400
パラグアイ	200
バルバトス	30
ブラジル	230
ベネズエラ	100
ペルー	199
ボリビア	96
ホンジュラス	150

15カ国 2,395

畳 Tatami

国名	数
エチオピア	100
エルサルバドル	513
キューバ	100
コスタリカ	240
コロンビア	116
タイ	100
タンザニア	248
トルコ	188
パナマ	113
パラオ	220
ベトナム	50
ホンジュラス	50
マリ	78
マレーシア	15
ミャンマー	99
レバノン	73
ロシア	216

17カ国 2,519

オセアニア Oceania

国名	着数
キリバス	59
グアム	50
サモア	150
ソロモン	150
トンガ	50
ナウル	100
バヌアツ	100
パプアニューギニア	50
パラオ	165
フィジー	50
マーシャル	50

12カ国 974



三重県多気郡明和町の明和中学校の柔道部とボランティア部の皆さんが本法人の柔道衣活動に協力と寄付をしてくださいました

リサイクル柔道衣支援活動は、本法人が設立された2006年より開始されました。13年間で84カ国・地域、リサイクル柔道衣:10,277着(アジア24カ国3,674着、アフリカ25カ国2,864着、ヨーロッパ5カ国370着、オセアニア12カ国974着、中南米15カ国2,395着)を送付することが出来ました。

2012年から開始されたリサイクル畳支援活動は、道場の張り替えなどにより不要になった畳の寄贈をうけました。6年間で17カ国2,519枚を送付することが出来ました。

一般指導者・学生ボランティア派遣事業

アメリカ・チャールストンで柔道指導

2018年7月19日～25日の期間、アメリカチャールストンへ田知本愛さんを派遣しました。

Megumi Tachimoto was dispatched to Charleston, USA from July 19th- 25th 2018.



チャールストン女子柔道合宿の参加者と

柔道ができる環境にいることに感謝 田知本愛

2018年7月19日から7月25日の約1週間、アメリカのチャールストンでの福田敬子女子柔道合宿での指導の機会を頂きました。この合宿は45年前に始まりました。当時、女子柔道家の合宿はほとんどなかったため、女子柔道家のために福田先生が作られた合宿で、伝統あるものでした。技術講習のみならず形の講習会も開催され、様々な柔道の楽しみ方も見ることができました。

現地に行くまで、参加人数や対象者がわからず、どのように指導したらいいのか不安でした。到着し、年齢層が様々で、継続して練習に来る参加者、1日だけの参加の方などバラバラで、指導方法に戸惑うことはありましたが、楽しく指導することができました。練習の初めには、福田先生が作った単独練習なども実際に拝見し、歴史を感じました。福田先生の柔道クラブの方々は、何時間かかけて集まり、熱心に指導を受け、言葉もしゃべれない私に、動作で質問してくれました。現地の子供の中には、オリンピックに出場することを目指している女の子もおりました。他の子供が遊んでいる時にも熱心に指導を受け、指導後には納得したように笑顔でお礼を言った姿が印象的でした。

合宿の合間には、子供たちが覚えた日本語で挨拶をしてくれたり、福田先生のお話や女子柔道があまり行われていなかった時の話も伺うことができました。嘉納先生と聞くとても遠い存在だと思っていたのですが、話を聞き少し近くに感じた気がしました。福田先生は当時の話をされる時、泣いてお話をしたらしく、女子が柔道を始めるということは、当時は難しかったこと。それでも柔道を続け、柔道が好きだったことを感じました。福田先生のような先生がいて、今日の女子柔道があるのだと感じ、自分が柔道ができる環境にいることに感謝しました。

今回は短い期間でしたが、このような「女子柔道家のための合宿」に参加することができ、勉強になることがたくさんありました。温かく迎えていただき充実した日々を過ごすことができました。最後に、このような機会を与えてくださり大変感謝しております。心から御礼申し上げます。

一般指導者・学生ボランティア派遣事業

中国青島・南京で柔道指導

2018年11月29日～12月5日の期間、東海大学付属福岡高等学校の甲斐康浩教諭及び土居弘樹教諭を日中友好青島柔道館及び日中友好南京柔道館に派遣しました。

Yasuhiro Kai and Hiroki Doi, teachers at Tokai University Affiliated High School Fukuoka was dispatched to the Japan-China Friendship Judo Halls in Qingdao and Nanjing from November 29th to December 5th 2018.



南京友好柔道館(上)、青島市内の小学校での指導(下)

中国柔道の勢いを感じました 甲斐康浩

11月29日から12月5日までの7日間、青島・南京において柔道指導を行いました。11月29日から12月2日までは、青島に滞在し、主に日中友好青島柔道館で小学生を中心とした指導を行いました。子供たちは、元気いっぱいとても楽しそうに練習を行っていたのがとても印象に残りました。その中で、柔道の歴史についての話、背負投げの基本的な技の説明等を行いました。青島柔道館の子供たちと一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

その後、南京へ移動し柔道指導を行いました。南京では、小学校や中学校、そして、日中友好南京柔道館で指導を行いました。南京柔道館では、小学生から一般までの指導をさせて頂きました。子供達には、柔道の歴史、基本的な技の説明等を行い、一般の選手へは、得意技の説明や連続技の説明を行いました。それぞれの場所で、柔道を通して楽しい時間を過ごすことが出来ました。今回、中国での指導で感じたことは、世界で勝つための強化については、中国独自の力で力を入れて取り組んでいましたが、それ以上に、子供たちの指導において、柔道精神である躰の部分をしっかり指導していると感じました。挨拶や整理整頓、相手への敬意等、しっかりと行っていました。近い将来、中国の柔道が世界で活躍する日が来る予感を感じ、中国柔道の勢いを感じました。今回の指導で私自身とても勉強になることが多く、様々なことを考えさせられました。柔道の指導においてだけでなく、教員として、また人として大変有意義な7日間でした。この経験をこれからの人生で生かしていきたいと思えます。このような経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

一般指導者・学生ボランティア派遣事業

アンカラで柔道セミナーを開催

2018年10月22日～30日の期間、光本健次国際担当師範、UAEから原口直也氏(UAE柔道連盟ジュニア・カデットコーチ)、モウ・サレー・アルモウ氏(フジャイラ・マーシャルアーツ・クラブ)、学生ボランティアとして小橋川元輝さんをトルコ・アンカラに派遣しました。大会にあわせ、柔道セミナーを開催、トルコのみならずシリア難民、約150名が参加しました。

International instructor Kenji Mitsumoto, Naoya Haraguchi, junior cadet coach with the UAE Judo Federation, Mouh Saleh Almouh (Fujairah Martial Arts Club) and student volunteer Kohashikawa Motoki were dispatched to Ankara, Turkey from October 22nd to 30th 2018.



アンカラやシリア難民の子ども達が参加した柔道教室



10月27日には、日本大使館杯が開催されました



セミナー後に、シリアの子ども達と



セミナー中に、リサイクル柔道衣を贈呈

柔道を通して子どもたちに笑顔を届けるため 原口直也

柔道教育ソリダリティーからお声掛けをいただき、トルコのアンカラに指導支援に赴きました。今回の柔道教室は、在トルコ日本大使館、トルコ柔道連盟、NPO法人柔道教育ソリダリティーが協力し、シリア難民の為に実施されたものでした。

一緒に指導したシリア出身のモウ先生に話を聞くと、参加者のシリア難民の子ども達は、何百キロという長い道のりを一步一步逃げてきたそうです。明日があるか分からない戦争から逃げ、今もシリア側からの難民キャンプへの攻撃に、毎日怯えながら生きているとモウ先生は言っていました。楽しそうに柔道をしている子ども達が、生死の境で生きていること。良い笑顔で、楽しそうに柔道をしていると思っていた子供たちが、シリア難民の子ども達とは想像も出来ませんでした。

在シリア日本大使館の宮島大使との会食で、貴重なお話をお聞きしました。戦争を知らない子は、想像で戦争の絵を描くので黒を中心に使い真っ黒い絵を描く。しかし、戦争を経験した子供たちは白い紙に、まず花を一本描くそうです。その花の周りに人を描き、その人たちは涙を流しているとのことでした。同じ戦争の絵でも、想像で描く戦争と、希望を描く戦争では全く違うものになります。私は子供たちの笑顔を見て、少しでも希望を与えることができたという嬉しい気持ち半分、もっと何か出来たのではという悔しさ半分、複雑な気持ちになりました。柔道を通して、子ども達に笑顔になってほしいと純粹に感じた柔道指導となりました。

私自身も深く考えさせられ、成長できた柔道指導だったと感じております。特に、子ども達には逆に大切なことを教えてもらいました。柔道をしてきた中で、一番良い笑顔を見ることが出来ました。あの笑顔は今後忘れることは無いでしょう。最後に、支援して下さいました方々に深く感謝いたします。これからも、できる限り柔道を通して多くの人に笑顔を届けるよう努力します。

自分がどれだけ恵まれた環境で柔道出来ているか実感 小橋川元輝

光本健次先生のご指導の下、トルコのアンカラにて柔道指導のアシスタントとして参加させていただきました。柔道教室では、トルコ柔道連盟道場の新しい建物で行われました。現地、トルコの柔道チームだけではなく、今も内戦中であるシリアの難民の子供たちも参加していました。

10月24日から3日間、柔道教室が行われました。自己紹介など、挨拶から始まりましたが、緊張しかありませんでした。柔道教室の内容は、光本先生が礼儀作法、基本動作、立ち技と寝技の練習法を指導し、原口先輩、モウ先生が楽しいトレーニング法など、立ち技、寝技に繋がるトレーニング法を指導されました。私は、先生方のサポートを行い、準備体操、クールダウンなどといったことをやらせて頂きました。最初は緊張で、声を張ることが出来ませんでしたが、子供たちが良い反応してくれ、徐々に緊張がほぐれました。

柔道教室では、トルコとシリア両国の子供たちがいましたが、仲良くお互い教え合ったりしており、最初はどの子がシリアの子かわかりませんでした。しかし、柔道衣を見ると、見覚えのある柔道衣を着ている子がおり、柔道教育ソリダリティーから送られているリサイクル柔道衣を着ていることに気付きました。

このシリア難民の子供の中には、家や、家族を亡くしてしまった子供たちもいると聞きました。その子供たちがリサイクル柔道衣を着て笑顔で柔道する姿を見てとても感動し、指導にも気合が入りました。私が、今どれだけ恵まれた場所で柔道ができているのかというのを改めて感じました。

27日には、第一回日本大使館杯が行われ、柔道教室に参加した子供たちの多くが参加していました。この大会の間に、受身や投げ込みといったデモンストレーションをやらせて頂きました。大会は無事成功に終わり、表彰式の後に、トルコ柔道連盟へ嘉納治五郎師範の写真の贈呈。山下泰裕先生のメッセージを光本先生が代読されました。

このような貴重な機会を与えてくださった柔道教育ソリダリティーの皆さまに、厚く御礼申し上げます。

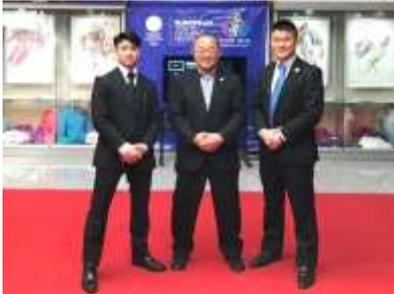
一般指導者・学生ボランティア派遣事業

ボスニア・ヘルツェゴビナでコーチングセミナーを開催

2019年2月13日～20日まで、ボスニア・ヘルツェゴビナのモスタルへ、光本健次国際担当師範、原口直也氏(UAE柔道連盟)、ジョージ・ブントキス氏(ギリシア)、学生ボランティアとして渡邊勇さんを派遣し、JICA主催で行われたコーチングセミナーを支援しました。

International instructor Kenji Mitsumoto, Naoya Haraguchi of the UAE Judo Federation, George Bountakis (Greece) and student volunteer Isamu Watanabe lent their support at a coaching seminar organized by JICA in Bosnia Herzegovina from February 13th-20th 2019.

柔道で民族融和 ボスニア・ヘルツェゴビナ 原口直也



ボスニア・ヘルツェゴビナのオリンピック委員会の前で



ボスニア紛争の跡が残る建物



コーチングセミナー2017研修生のハナ・ベンカ氏(左)、マルコ・ズリムセック氏(右)と再会



コーチングセミナー参加者と

2019年2月13日～20日まで、光本健次師範のアシスタントとしてボスニア・ヘルツェゴビナへ同行させていただきました。このプロジェクトは、JICAが実施する「スポーツ教育を通じた信頼醸成プロジェクト」及びモスタル市スポーツ協会の共催、ボスニア・ヘルツェゴビナ柔道連盟と柔道教育ソリダリティーの協力の下、柔道を通し国内の民族融和を目的としたプロジェクトでした。

ボスニア・ヘルツェゴビナは国内に、ボシュニャク、クロアチア系、セルビア系の3つの民族が存在しており、1992年～1995年に民族紛争が起きました。約30年前に起こった紛争の爪痕は、セミナーの開催地であったモスタル市内に生々しく残っていました。

コーチングセミナーには、ボスニア・ヘルツェゴビナ国内から約50人が参加しました。参加者にはボシュニャク、クロアチア系、そしてセルビア系が混ざっています。2日間という短い時間ではありませんが、内容の濃いセミナーができたのではないのでしょうか。セミナーには、柔道世界ランキング上位のラリサ・ツェリッチ選手の姿もありました。コーチングセミナー2017に参加したマルコ先生とハナ先生も参加し、光本師範はいつも以上に気合が入っていました。今回も私は光本師範のアシスタントとして、微力ながら全力でサポートさせていただきました。初めて会うコーチ陣を一気に虜にする師範の指導は圧巻です。いつもの事ながら、参加コーチと同じ目線で改めて学ばせていただいております。

今回のセミナーに参加して、改めて柔道は世界を変えることができると希望を感じることができました。紛争を経験しているコーチも数多くおりましたし、民族融和には時間がかかることでしょう。今回のようなプロジェクトを通して、皆が心を通い合わせることで、子ども達が大人になる頃には、より良い社会が実現出来ることを願います。

JICAプロジェクト専門家の辻康子さん、国の事やサラエボ、モスタルの事など詳しく教えて下さりありがとうございました。この様なプロジェクトにアシスタントとして参加させていただき、柔道以外でも学ぶ事が多々ありました。これからのボスニア・ヘルツェゴビナ柔道の発展を心より願っております。

柔道を通して世界の平和に少しでも貢献したい 渡邊勇

この度、東ヨーロッパのバルカン半島にあるボスニア・ヘルツェゴビナで柔道技術指導を行いました。復興が進んだ現在でも、建物にはおびただしい数の銃痕が残っており、治安に問題はないものの各民族で居住区が違うなど状態は決して良い状態ではありませんでした。

柔道指導者体制もそのような現状を受け、安定していません。このような状況を少しでも改善させるための融和政策として、コーチングセミナーを開催することになりました。光本先生に、この事業にアシスタントとして参加しないかと誘っていただいた時は、柔道を通して世界の平和に少しでも貢献できるのではないかと、とても嬉しい気持ちになりました。

16日と17日の2日間、モスタル市内小学校体育館にて、約50人の指導者を対象にコーチングセミナーを行いました。参加者はまだ現役の若い選手もいれば60歳を超えたベテランの指導者までおりました。最初のセミナーでは映像資料を使って光本先生が柔道の歴史・精神、そして指導者としての心構えを説明しました。その後、立ち技の基本動作と練習法の指導をしました。2日目は寝技の基本動作、メンタルトレーニングと国際ルールの講習会を行いました。

セッションをすべて終え、修了証を参加者の皆さんに授与しました。私達にも、感謝状のようなものをいただき、最後に記念写真を撮りました。活動最終日には柔道普及を目的に、柔道教室を現地の小学生に行いました。基本的な受身や寝技、柔道の動きを取り入れたゲームなどを子供たちはとても楽しそうでした。中でも、しゃがんだ子供たち6人を飛び越える受身のデモンストレーションはとて好評でした。海外の方々に指導する先生方を間近で見て、非常に勉強になり、個人的に質問に来た方に、私も教えることが出来てやりがいを感じました。

10日間、光本先生と行動を共にし、達成感を得たと同時に、柔道だけではなく世界遺産や紛争の傷跡を見学し自分自身の見聞を広めることができました。柔道を通じた国際交流で様々な方々と触れ合い、温かく接していただいていたボスニア・ヘルツェゴビナという国と人々が大好きになりました。今回このような機会を与えてくださった柔道ソリダリティーの皆さま、JICA専門家の辻康子さん、関係者の方々に厚くご御礼申し上げます。

一般指導者・学生ボランティア派遣事業

アメリカ・アナポリスで柔道指導を実施

2019年3月16日～4月4日の期間、アメリカ、アナポリス・ジョージワシントンへ國學院大學柔道部コーチの川上智弘氏を派遣しました。

Tomohiro Kawakami, judo coach at Kokugakuin University was dispatched to Anapolis, Washington from March 16th to April 4th.

日本柔道への尊敬を強く感じた 川上智弘



アナポリス、柔道クラブの皆さんと



ワシントン柔道クラブでの指導

ワシントン柔道クラブは、柔道初心者から各国のナショナルチーム代表経験者合わせて50名程度の幅広いレベルの柔道家が集まるクラブチームであった。2時間の練習時間において、初回を除いて全ての指導と練習の進行を任された。同クラブでの1番の要望は実際に乱取り稽古に参加して欲しいということであった。日本から指導者として派遣されている身分として、依頼されたことを断るわけにはいかない。もちろん負けるわけにもいかない。勝手ながら国際大会に出場する日本代表という気持ちで、毎回稽古に臨んだ。しかし真剣勝負が終われば同じ柔道家としての仲間である。言葉が通じなくても、皆笑顔で歓迎してくれた。

アメリカ海軍士官学校は、初級から中級者の20名程の部員が在籍し、1時間半全ての時間を任された。乱取り稽古は15分程度に抑え、受け身、柔道着の握り方や姿勢、基本の技の形の指導を中心に行った。単純に技を指導だけではなく、この先も彼らが自分達で継続できる練習方法を伝えることにも注力した。道場に向かうと、全体練習の前から前回の復習、技の確認に励んでいた。計7回の練習で、見違える程強くなったと古森氏、アメリカ海軍士官学校に日本の海上自衛隊から出向している前山一歩教官からお褒めの言葉をいただいた時は嬉しかった。

私は今まで強くなる為に柔道に取り組んできた。しかし、今回は柔道を知ってもらおうという視点で望んだ。この期間で新たな大きな2点を発見した。1点目は、クラブの方に、ホワイトハウスや最高裁判所への特別な招待を受けるなど日本柔道への尊敬を強く感じた。日本発祥の柔道が、これほど敬意を持たれている事実は、国内では決して感じることは出来ない。2点目は、アメリカでは成人から始められる武道として柔道が認知されていた。柔道に参加されている方々の特徴として、弁護士や医師など一般的に社会的地位が高いとされる職業の方が多いことも発見であった。理由を聞くと、柔道の思想や奥ゆかしさなどに興味を持ち、のめり込んだという答えが返ってきた。柔道人口減少が危惧される日本でも環境の違いはあるものの、それらにヒントがあるのではないかと感じた。柔道教育ソリダリティー最後の派遣という大役に海外指導歴のない私を抜擢、派遣して下さいました皆様、ワシントン滞在時にお世話になった古森義久・スーザン夫妻にこの場をお借りして感謝申し上げます。

外国からの指導者・選手受入支援事業

ボツワナよりガビン選手を受入れ！

2019年2月13日～3月13日、ボツワナのガビン・モゴパ選手を受け入れました。

We welcomed Botswana male judo athlete Mogopa Gavin from February 13th to March 13th.

井坪先生と共に東京2020出場を目指します ガビン・モゴパ



井坪圭佑氏のご両親と友人の杉並伸勉氏と

柔道教育ソリダリティーは、私の柔道キャリアに大きな支援をくださいました。2014年に、私のコーチであった井坪先生が亡くなり、彼との夢や記憶は私の中に残されました。井坪先生と一緒に見た私の夢は、絶望的になり、柔道の実績がない18歳の私を誰も助けてはくれないと思いました。柔道教育ソリダリティーの招へいを受けるまでは……。

私は、あたたかい歓迎を受け、同時に皆さんからの愛のある支援を感じる事が出来ました。柔道教育ソリダリティーは、私の柔道の夢を助けて下さっただけでなく、ボツワナの柔道家たちにも、夢を与えて下さいました。

柔道教育ソリダリティーは、私が今まで出会った組織の中で最高です。私たちに、引き続き東京2020の夢を与えて下さっています。常に、私は皆さんに支援されたものとして、感謝しています。皆さんからの大きな力を受けて、私の二回目のオリンピック出場を目指します。そして2020年、ボツワナ、井坪先生、そして柔道教育ソリダリティーの代表として、畳の上に立ちます。本当にありがとうございます。

外国からの指導者・選手受け入れ事業

コーチングセミナー2018

2018年11月8日～12月7日の期間、11カ国(イスラエル、パレスチナ、カナダ、カンボジア、ガーナ、ギリシャ、エルサルバドル、インド、トルクメニスタン、モンゴル、中国青島・南京)の13名のコーチを受け入れ、コーチングセミナー2018を開催しました。

研修は、東京到着後、講道館や全日本柔道連盟の訪問から開始。嘉納治五郎師範のお墓参りの後、研修が行われる東海大学湘南校舎に移動しました。東海大学では、光本健次国際担当師範の指導を受けました。また、中西英敏教授、上水研一郎教授、井上康生准教授、大川康隆准教授、塚田真希講師などの授業にも参加。濱名道場の濱名智男先生より形、花岡美智子准教授よりスポーツテーピング法、今村貴幸医学博士よりリハビリ

テーション法、高妻容一教授よりメンタルトレーニング法を学びました。また、吉村哲夫教授に剣道体験、原田渡居合道部監督に居合道体験教室を開催していただきました。

また、濱名道場(大磯町)、朝飛道場(横浜市神奈川区)、豆蔵道場(東京都練馬区)、平塚市総合体育館(神奈川県平塚市)、望星学塾(東京都武蔵野市)、東京都立青鳥特別支援学校(東京都世田谷区)、講道館大阪国際柔道センター、東海大学付属大阪仰星高等学校・中等部(大阪府枚方市)において研修。柔道グランドスラム大阪を視察しました。

お世話になった皆さまに感謝申し上げます。

オリエンテーション

セミナー研修先の東海大学に到着後、本法人の趣旨などのレクチャー、柔道衣などの贈呈を行った。



柔道技術指導

光本国際担当師範による技術指導。コーチングセミナーの期間中、ほぼ毎日行われた。



朝飛道場

横浜市の朝飛道場にて、朝飛大先生のご協力の下、少年柔道指導法を学ぶ。



メンタルトレーニング

東海大学体育学部、高妻容一教授よりメンタルトレーニングを学ぶ。



平塚市総合体育館

平塚市立金目中学校柔道部顧問の真田二郎先生の協力の下、平塚の子ども達の練習に参加。



柔道特別授業

東海大学武道学科、山下泰裕理事長の柔道特別授業に参加。



松前柔道塾

東京都武蔵野市の松前柔道塾の練習に参加。



剣道・居合道体験

東海大学剣道部、吉村哲夫教授により剣道体験、居合道部原田渡氏により居合道体験を実施。



2018年11月8日～12月7日、11カ国より13名の指導者を受入れ、コーチングセミナー2018を開催しました。

13 instructors from 11 different countries attended our coaching seminar from November 8th to December 7th 2018.

健康フィットネス理論

東海大学武道学科、塚田真希先生の授業に参加。



グランドスラム大阪

グランドスラム大阪2018を視察。



大阪講道館・仰星高等学校

大阪講道館、東海大学付属大阪仰星高等学校柔道部の練習に参加。



広島・京都研修

広島宮島の宮島、広島平和記念資料館、京都の高専柔道発祥の地「武徳殿」などを見学。



リハビリテーション

常葉大学今村貴幸医学博士よりリハビリテーション法を学ぶ。



中郡柔道研修大会

神奈川県中郡柔道研修大会を視察。審判を務める。



豆蔵道場・NTC

東京都北区味の素ナショナルトレーニングセンターを見学後、東京都練馬区豆蔵柔道の練習に参加。



スポーツテーピング

東海大学体育学部の花岡美智子准教授より、スポーツテーピング法を学ぶ。



修了式

12月5日、修了式を開催。修了証書などを授与。



帰国日

イスラエルのヨセフ氏、パレスチナのタヤヤ氏がオリーブを東海大学国際友好会館に植樹。



外国からの指導者・選手受入れ事業

コーチングセミナー2018 研修生からのメッセージ



タヘヤ・ヒシャム・ナシュハ (Thaer Hisham Natsheh)



日本で学んだことをパレスチナで伝えます

パレスチナ

私をこのセミナー招いて下さり、ありがとうございます。大変嬉しく光栄に思います。この素晴らしいプログラムは、とても勉強になりました。心より感謝申し上げます。東海大学の皆さん、全日本柔道連盟、講道館、山下先生、光本先生、優しい母親のような恵子さん、浩子さん、スタッフの皆さんに、感謝の気持ちを伝えたいです。日本で学んだことをパレスチナで伝えながら、柔道を広げたいと思っています。

広島原爆資料館で見たものは、大変驚きました。二度と同じことが起こらないように、祈っています。自分の国、パレスチナの状況も良くなるように祈っています。皆さま、本当にありがとうございました。



ヨセフ・ガネル (Yosef Ganel)



学んだ子ども達への柔道指導法を伝えていきます

イスラエル

柔道教育ソリダリティーの皆様、このような機会を与えて下さり、ありがとうございます。心より感謝いたします。日本で柔道の基本、子ども達への指導方法などを学びました。日本で学んだことを、今後も生かしていきたいと思っています。タルバス柔道クラブは、柔道教育ソリダリティーの皆様から、指導者もたくさん送っていただきました。心より感謝いたします。タルバス柔道クラブのみならず、イスラエルで柔道がますます発展していきますよう努力していきます。



リー・ジャン (Li Jiang)



柔道に対する認識と理解を深めることが出来ました

中国・日中友好青島柔道館

コーチングセミナー2018は、最高でした。山下先生、光本先生、母のような恵子さん、浩子さん、全ての方々、勉強と交流の機会を与えて下さったことに感謝します。コーチングセミナーに参加した皆さんと良い友達になりました。将来は、柔道を通して柔道の交流をしたいと思います。セミナーの中で、色々な柔道館を見学し、交流することによって、柔道への理解を深め、私の柔道人生観を豊かにしました。日本は、青少年柔道教育や指導法の研修普及、発展が進んでいます。これは現代の中国柔道で最も不足している部分だと感じました。私は、帰国後、指導者として、柔道をもっと多くの人に広め、柔道教育を通し、社会に貢献したいと思っています。ありがとうございました。



リュウ・ワンロン (Liu Wenlong)



新しい指導方法を学びました

中国・日中友好青島柔道館

柔道教育ソリダリティー最後となる、コーチングセミナーに参加することが出来て光栄です。日本で、皆さんと共に、多くの新しい指導法を学び、また日本の文化を体験しました。一カ月の短い間でしたが、自分の知識不足を知り、柔道に関する豊富な知識と技術を身につけることが出来たと思います。

1カ月の間、先生方の素晴らしい指導を受けました。心よりお礼を申し上げます。また、機会があれば、日本に来て、更に勉強したいと思っています。ありがとうございました。



チャン・ジェイ (Zhang Jie)



「柔道、友情、平和」を学びました

中国・日中友好南京柔道館

山下先生、光本先生、尊敬する先生方、恵子さん、浩子さん、柔道教育ソリダリティーのコーチングセミナーに参加できたことすべての皆さんに感謝します。一ヶ月の間、たくさんの青少年の指導法、知識と理念を学びました。私は、その中で柔道が全ての人生にも通じるということを感じました。高い理念の下で、柔道を練習する人は、自分の体を丈夫にするだけでなく、社会や他の人たちにも調和と協力をもち、これが自他共栄につながると感じました。それは、私が帰国してから中国の子供に伝えたい目標となりました。「柔道、友情、平和」のモットーを忘れません。ありがとうございました。



エゼキル・ニー・ダルゴ・ドドー (Ezekiel Nii Darko Dodoo)



全ての支援に感謝いたします

ガーナ

NPOの皆さま、このような機会を与えて下さり、心の底から感謝しています。もっと日本にいたかったのですが、もう帰らなければなりません。セミナーのプログラム、そして日本滞在の全ての支援が素晴らしかったです。いつか、皆さんに、また会えることを祈ります。皆さま、身体に気をつけて、お元気で！Love all！ありがとうございました。



アマンダードイェフ・ロブシェン (Amandurdyev Rovshen)



柔道を通じ素晴らしい友人が出来ました

トルクメニスタン

はじめに、本当の柔道を学ぶことが出来るこのコーチングセミナーを企画して下さいました方々に感謝します。私の柔道人生の中で、最高の一か月でした。この一か月で新たに学んだことをトルクメニスタンに帰ってから、コーチと生徒たちに伝えたいです。私たちをいつも心から助けて下さった健次先生、恵子さん、浩子さん、由利さん、奈緒に改めて感謝したいです。そして柔道を通じ、素晴らしい友達が出来ました。柔道を改めて素晴らしいと感じた一か月でした。皆さま、ありがとうございます。



ホセ・マリオ・ペレス・アギーラ (Jose Mario Perez Aguilar)



柔道と出会えたことを感謝します

エルサルバドル

山下先生、光本先生、恵子さん、浩子さん、日本の皆さま、今回の日本での研修では、とてもたくさんの方の事を学ぶことが出来ました。柔道に出会わなかったら、私はどのようになっていたかわかりません。柔道にも感謝しています。柔道をしていなかったら、このような素晴らしいセミナーに参加し、日本に来ることもできなかったことでしょう。コーチングセミナーで学んだことは、エルサルバドルで伝えていきたいと思えます。柔道教育ソリダリティーの皆様、本当にありがとうございました。



ジョージ・ブントキス (George Bountakis)



山下先生がいなかったら、私はここにいなかったでしょう

ギリシャ

コーチングセミナーが終わることは、私にとって嬉しくもあり、悲しくもある、複雑な気持ちです。達成感と終わってしまう寂しさがあります。本当にお世話になりました。東海大学の皆さんは新しい友人になりました。柔道教育ソリダリティーのプログラムによって、山下先生に会うことが出来ました。光本先生、あなたのような先生に、もっとはやく出会いたかったです。心からお礼申し上げます。一生忘れません。恵子さん、あなたは誰に対しても、母親のような思いやりをもって、接して下さいました。浩子さん、いつも優しくサポートして下さいました。奈緒ちゃん、なんて素敵な女性でしょう。12人のコーチの世話をするのは簡単ではなかったと思えます。毎日、眠れない忙しい日が続いたと思えます。皆さま、私たちのために多くの時間を過ごしてくれてありがとうございます。



チャン・ソピー (Chhan Sophy)



夢のような研修でした

カンボジア

私は、シェムリアップという町のアンコールやわら道場で教えています。やわら道場には、初めは柔道衣がなく、練習をするのも大変でした。けれども、一昨年、柔道教育ソリダリティーの皆様から柔道衣を50着をいただきました。本当に嬉しかったです。皆さんの支援を受け、たくさんの方の日本の先生方がやわら道場に来て下さっています。今回は、世界一の柔道家の山下先生にお会いできました。憧れの講道館にも行き、会員登録も出来ました。たくさんの方の素晴らしい先生に、お世話になりました。本当にありがとうございました。いつか私の国で、皆さんにお会いしたいです。皆さんは、私の家族と同じですから。私は必ずコーチングセミナーで学んだことをカンボジアで待っている生徒たちに教えます。約束します。



パーザ・プラティム・セングプタ (Partha Pratim Sengupta)



セミナーに参加出来たことを幸せに思います。

インド

山下先生、光本先生、恵子さん、浩子さん、そしてサポートをして下さった全ての方々、本当にありがとうございました。このセミナーを受けることが出来、誇り高く、幸せに思います。ここで学んだ多くのことを、インドで生かし、たくさんの人へ伝えていきたいと思えます。心より感謝いたします、ありがとうございました。



ツァンバータル・テンギス (Tsagaanbaatar Tengis)



柔道発祥の地、日本に来るのが夢でした

モンゴル

一カ月間、日本人の文化、日常生活を見てとても興味深かったです。私たちは、様々な場所に案内していただきました。日本には多くの寺があり、それぞれ独自の文化があります。広島にある広島平和記念資料館を見学した際、日本人が我慢強く生き抜き、今日の日本を作りあげてきた事に、心を強く打たれました。様々な柔道場も訪問しました。中でも、朝飛先生のやり方がとても魅力的でした。いつか私も良い指導者になって、強い選手を育て、世界大会かオリンピックの大舞台で朝飛先生の教え子達と対戦したいと思っています。

最後に日本人の優しさ、綺麗な環境、真面目さ、食事の文化はとても感動的でした。今回学んだ事を今後の柔道人生に生かします。とても役に立ちました。また、お世話になったたくさんの方々に、特に、光本先生、恵子さん、小沢さん達に感謝いたします。ありがとうございました。



アリックス・レナード・ロイ (Alix Renaud-Roy)



“Judo is more than a sport”を実感しました

カナダ

山下先生、光本先生、恵子さん、浩子さん、私のサポートしてくれた皆さま、本当にありがとうございました。セミナーを通して、“Judo is more than a sport”の意味が分かりました。そして、柔道には、世界中の人々をつなぐ力があることも学びました。見ず知らずの私たち13人は、いつの間にか柔道を通して友人になりました。全ての場所であたたかい歓迎を受け、笑顔を見ることが出来ました。たくさんの方々に会い、たくさんの方々のことを学びました。日本文化は、私をより良いコーチに育ててくれました。本当にありがとうございました。



福本 奈緒



受け継がれていく柔道教育ソリダリティーの意思

日本

今回、コーチングセミナーのサポートスタッフをさせて頂きました、福本奈緒です。はじめに、柔道教育ソリダリティー関係者の皆様、このような貴重な機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

初日の緊張があつという間に消え、今では家族の一員のように接し合う彼らを見ながら、柔道の偉大なパワーを改めて感じました。共同生活をする中でお互いの文化や宗教などの違いも見え、相手の立場で物事を考える瞬間に触れる機会が多くありました。柔道のコーチングのアプローチを学ぶ中で、改めて自分と他者の違いを認め合うこと、出来る事もあれば出来ない事もあると身を通して実感しました。それが自分自身を見つめ直すきっかけになったり、新しい自分を知ったり、成長を感じることもありました。柔道を通し、今まで知らなかった世界が、思ってもみなかった方向に広がりました。感動や衝撃、そして動揺、色々な感情をそれぞれが感じながら、相互理解を深め、新たな解決策と一緒に生み出していくというような環境を自然に作り出していました。

そのような彼らの姿を見て、この柔道教育ソリダリティーの「柔道・友情・平和」の意思がしっかりと伝わり、受け継がれているのを痛感しました。このような素晴らしい環境を生み出せる先生たちをはじめ、NPO関係者のすべての皆様に感謝を申し上げます。

私を含め、13人のコーチたちにとって、紛れもなく一生忘れることのない、人生の糧となる貴重で刺激的な1ヶ月を過ごさせて頂きました。本当に、本当にありがとうございました！

海外柔道普及支援事業

ロシア・ウラジオストクで柔道指導

2018年7月23日～28日の期間、ロシア・ウラジオストクに、光本健次国際担当師範、浅井信幸ロシア交流担当、東海大学柔道部OBの矢澤賢人氏を派遣しました。



極東連邦大学柔道部での指導の様子



練習後に極東連邦大学柔道部の皆さんと

International instructor Kenji Mitsumoto, Nobuyuki Asai, in charge of Russian exchange and Kento Yazawa were dispatched to Vladivostok, Russia from July 23rd to 28th 2018.

今後の沿海地域での柔道発展を祈念します 浅井信幸ロシア交流担当

沿海地方柔道連盟の要請を受けて、極東連邦大学柔道場で柔道教室を実施しました。同大学生、OB、未就学児からベテラン指導者まで年齢層、レベルも大きな差がある中での指導は困難を極めました。光本健次国際担当師範の引き出しの多さに助けられ、大変充実した有意義な交流が出来ました。

沿海地方は、柔道とサンボが一つの連盟として運営されていましたが、2018年6月にそれぞれの連盟に分かれる法的手続きが終了したところでした。柔道連盟設立前の5月には、当法人のサポートによりサンクト・ペテルブルグで開催されたラフリン先生記念大会に選手を派遣しました。女子選手が2位になり、プーチン大統領からメダルを掛けられるという栄誉に浴しました。今後の沿海地方での柔道の普及発展に弾みがつけばよいと願っています。

また、柔道教室には同時期に開催された、青少年柔道大会に参加した北朝鮮チームも加わりました。お互い言葉は通じませんでしたが、稽古後の記念写真と一緒に加わるなど、柔道という共通の言語で通じ合ったのだと思います。北朝鮮チームは団体戦で優勝を飾りました。

柔道教育ソリダリティーの柔道交流は地元でも注目され、現地メディアのインタビューを受けました。「柔道・友情・平和」のスローガン、教育としての柔道などを答えました。2018年9月の東方経済フォーラムで開催される嘉納治五郎杯柔道大会に期待するものを話しました。

沿海地方では交流を続けたいと望んでいます。これは、沿海地方、あるいはロシアだけに限らず、これまで交流を続けてきた国や地域に共通していることだと思います。どのようなスキームを作れるかを探りつつ、交流を続けていきたいと思っています。

海外柔道普及支援事業

嘉納治五郎杯ウラジオストク・カデ柔道交流大会

2018年9月12日、山下泰裕理事長、浅井信幸ロシア交流担当が「嘉納治五郎杯ウラジオストク・カデ柔道交流大会」に、出席しました！

September 12th 2018 Chairman Yasuhiro Yamashita and Nobuyuki Asai, in charge of Russian exchange took part in the International Vladivostok Jigoro Kano Cadet Tournament.

ロシア各地での交流は続きます 浅井信幸ロシア交流担当



元研修生フローラ氏(右から2番目)も大会に参加

9月12日に東方経済フォーラムのプログラムとして開催された「嘉納治五郎杯ウラジオストク・カデ柔道交流大会」に山下泰裕理事長、ロシア交流担当として私が参加しました。1917年にウラジオストクで世界初の柔道国際親善大会が日露間で開催され、その100周年記念大会として、「嘉納治五郎杯ウラジオストク・カデ柔道交流大会」は、昨年より開催されました。本年も3首脳(安倍晋三内閣総理大臣、ウラジーミル・プーチン大統領、パトルガ・モンゴル大統領)が大会を観戦しました。日本、ロシア、モンゴル、韓国、中国の男女8階級16名の混合団体戦が行われました。決勝戦は、日本とロシアの間で行われ代表戦でロシアが勝利しました。最優秀選手男女各1名には山下泰裕特別賞が授与されました。

また、ラフリン先生の熱望により、カーチャと共に当法人で半年間の研修を受けたフローラが、ロシアチームのコーチとして帯同していました。彼女が指導者として活躍していると聞いていたので、思わぬ再開にとっても嬉しく思いました。

フローラからお世話になった方々へ以下のメッセージを受けました。「NPO柔道教育ソリダリティーのプログラムで学んだものは、ロシアでの若い世代への指導で大変役に立っています。クラシックの柔道、技だけでなくその精神は若者の教育に必要なものです。ウラジオストクの嘉納治五郎杯の女子コーチで来ましたが、明日の決勝戦で日本チームと戦うことが出来れば嬉しいです。日本でお世話になった方々に宜しくお伝えください」

同大会は2019年にも開催されますが、2019年3月末をもって閉鎖する当法人として係わるのは今年が最後となります。大会前の各国選手の調整練習が、極東連邦大学道場の当法人が寄贈した量の上で行われたことは感慨深いものがあります。ロシア交流担当の立場としては、当法人閉鎖後に沿海地方をはじめロシア各地で行ってきた交流をどのような形で継続していくのか、多くの課題が残されていると実感しました。

国際青少年柔道大会

バリ島の子ども達が出来日！

2019年4月14日、埼玉県越谷市立総合体育館第一体育室にて開催されました「第3回ガーヤちゃん杯争奪少年柔道大会」に、インドネシア・バリ島の「仙石道場」より5名の子供達が出場しました。

Five children from the Sengoku Judo Hall in Bali, Indonesia took part in the 3rd Gaya-chan Youth Judo Tournament held on April 14th 2019 at the Koshigaya Sports Centre in Saitama Prefecture.



柔道大会の準備にも参加しました

アデール 11歳・女子

今回、日本へ行き、何もかもが初めてのことでしたので、びっくりすることばかりで、バリ島とは違う世界に来ている感じがした。ディズニーランドでは、みんなと一緒に色々な乗り物に乗って楽しかった。食事は豚骨ラーメンがとても美味しく、毎日食べても飽きないです。

試合は2敗1分けでしたが、日本の子供達は全員強く、もっともっと練習をしてもう一度日本へ来たいです。仙石先生から聞いております、今回の日本へ行けた事は、凄い「山下先生」が支援してくれたから行けたと聞いています。ご支援ありがとうございました。



満開の桜の下で

アブディー 11歳・男子

僕の試合は1勝1敗1分けでした。今回の仙石チームの男子は僕一人でしたが、仙石先生と一緒に部屋でしたので安心して眠れました。日本の女の子の強さに驚きました。僕も、もっともっと練習をしなければと思いましたし、また日本へ来て試合をしたいです。

ディズニーランドと浅草の「花屋敷」に行きました。「花屋敷」の「お化け屋敷」が凄く怖く、僕とアンジャニーと仙石先生の3人で入り、アンジャニーが特に怖がって、仙石先生を押し倒し、僕も思わず仙石先生の足を掴んで、3人共に倒れてしまいました。この時、仙石先生は財布を落としてしまったのですが、後で見つけてもらいました。インドネシアであれば財布は多分戻ってこなかったと思います。日本は凄い！

留学生柔道体験

Let's Enjoy Judo!

2018年7月17日、東海大学主催のTOKAI cool Japanの留学生、2019年2月25日、フィンランド国民高等学校JOUTSENSO OPISTO(ヨウツェノ国民高等学校・学院)の学生を対象に、柔道体験教室を開催しました。

A judo course was held on July 17th 2018 for exchange students on Tokai University's Tokai cool Japan program and for students from Finnish Community College Joutseno Opisto on July 17th.



マイア・マリア・ステニウス (フィンランド)

柔道は、とても楽しかったです。私は、今まで格闘技をやったことはありませんでしたので、何をやるのか少し緊張しました。ウォームアップと基礎が始まり、嬉しくなりました。先生は優しく、指導して下さいましたし、東海大学出身の有名な柔道家の方のお話は、興味深かったです。柔道体験教室は、とても楽しかったですし、見識を広める印象深い時間となりました。



柔道体験教室の様子

クリス (ハワイ・アメリカ)

私は、他のスポーツでも使える安全に倒れる方法を学ぶことが出来ました。危険な場所での護身や、誰でも出来る救命技術として適応できます。私は、柔道体験教室をとても楽しみ、先生やアシスタントの皆さんと会えたことに、嬉しく思いました

バシャー・アル・シヤマ (サウジアラビア)

私は、体験教室がどれだけ素晴らしかった口では、十分に表すことが出来ません。時間が短かったこと、もう少し質問で来たとも思いました。私は、柔道が大好きになりました。先生やアシスタントの生徒の皆さん、教えてくださってありがとうございます。

会員・寄付・サポーター

— Members Donations Supporters —

支援団体



新井運送株式会社



川中不動産株式会社



株式会社ゼネラル

dentsu



株式会社東海教育研究所



一般社団法人日中柔道文化研究会



有限会社ハイテク石英



株式会社ブラケット



アサヒ飲料(株)、(株)アットライズ、新井運送(株)、(株)小田原百貨店、(学)加計学園、川中不動産(株)、九州医療スポーツ専門学校、共和電子(株)、(株)興徳クリーナー、(株)廣洋、(株)ゼネラル、(株)電通、東海ウイング(株)、(株)東海教育研究所、東海教育産業(株)、トヨタ自動車(株)、(一社)日中柔道文化研究会、(公社)日本柔道整復師会、日本BS放送(株)、(有)ハイテク石英、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、(株)フォーラムエイト、(株)ブラケット、明光産業(株)

COMMONWEALTH JUDO ASSOCIATION
JUDOSPACE LTD
(株)アイキューブドシステムズ
(株)アイデア
(株)active
(株)アサヒ
(株)アシックス
アルミファクトリー(株)
石井化成工業(株)
伊藤忠商事(株)
伊藤超短波(株)
NPO法人今治しまなみスポーツクラブ
WITH(株)
(株)Win堂
(株)いろいろ
植木会計事務所
(株)上原不動産
(株)ウージンジャパン
(株)エイステージ
(株)エイチ・アイ・エス
(株)エスアルシー
(株)S-Yワークス
エフ・シー・エイ商事(株)
(株)ME横浜
(株)エースインターナショナルジャパン
(株)大戸屋
大峰堂薬品工業(株)
(株)小野衛生公社
(株)オピカ
オーミケンシ(株)
(株)麗ヶ間東海倶楽部

(株)カトー
(有)角川インベストメント
神奈川県柔道連盟
カネマツ運輸(株)
菅公学生服(株)
(株)カンサイ
関西プライダル
(医)恵中会 小島クリニック
関東興業(株)
紀柔館
(株)紀伊國屋書店
九州電力(株)
九州ヒューマンメディア創造センター
九州旅客鉄道
教道館
(学)近畿医療学園
(株)黒沢総研
京王観光(株)
京王電鉄(株)
健康コミュニティしずおか
(株)後藤商事
相模トリアム(株)
サポートセンター(株)
(株)三技協
(株)サンレー
(株)サーラコーポレーション
清水建設(株)
新日本製鐵(株)
(株)しんわ食品
(株)シー・ピー・オー設計
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)

(株)スウィート・ベリー
(医)鈴木レディースクリニック
(株)鈴木蒲鉾本店
住友商事(株)
(株)成通
セレモアホールディングス(株)
全柔連山下基金準備委員会
総合警備保障(株)
双信電機(株)
大成建設(株)
タカインターナショナル(株)
(株)タムラ製作所
(株)ダイゼン
(株)ダイナミックスパースズ東京
(株)ダイワコーポレーション
(株)逓信館
(株)築地すし好
ティラド
(株)テック
田園調布 内海商店
東海大学女子柔道部
東海大学同窓会
東海大学付属相模高等学校
(株)東海ビルメンテナンス
東京電力(株)
(一社)東京倶楽部
(公財)東京都柔道連盟
東建コーポレーション(株)
(株)東芝 社会インフラシステム社
藤柔会
東雄技研(株)

東洋水産(株)
土志田建設(株)
戸田建設(株)
農業生産法人(有)十津川農場
トランス・コスモス(株)
(株)トータルマリアージュサポート
(株)ナリス化粧品
西日本シティ銀行
(株)ニッセンホールディングス
日本柔道新聞社
(株)日本成婚ネット
日本駐車場救急サービス(株)
(医)自磁会中之島センタービル歯科
浜友観光(株)
(株)ハート出版
(株)ハートフルマリアージュ
(株)パロマ
肥後銀行
ヒューマンズ・ネット(株)
福岡銀行
(株)富士サービス
富士ゼロックス神奈川(株)
フジテレビジョン
(株)藤野製作所
富士ミネラルウォーター(株)
(株)ぶれし〜ど
(株)プロ・アクティブ
北京豊台区悟之道体育倶楽部
(株)ホームインブルーメントひろせ
(株)マツヒロ
丸竹コーポレーション(株)

(株)マルヤナギ小倉屋
三基食品(株)
(株)ミツウロコパレージ
三菱商事(株)
三菱重工(株)
(株)未来塾
武蔵野市柔道連盟
(株)明正会
明和中学校
(学)メイ・ウシヤマ学園
きょうざれん
柳田国際法律事務所
(株)山口工務店
(株)山安
NPO法人勇氣の翼インクルージョン
(株)ユニバーサルアンダーライターズ
(株)ユニーネット
横浜市柔道協会
(株)ランクアップ平野屋
カサ柔道クラブ
リコーリース(株)
(一財)良知活動振興財団
(学)了徳寺学園
(学)了徳寺大学
(株)レイクウッドコーポレーション
(株)レンブラントホールディングス
(株)ローソン
(株)わかば
(株)わくわくコーポレーション
(株)ヴィーノ

※特別支援団体などこちらに記載していない団体は、24ページ(裏表紙)に掲載しています。

協力団体

日中友好青島柔道館
日中友好南京柔道館
Sengoku International Judo Hall
Sensei Itsubo Memorial Dojo
朝飛道場
大阪講道館
加藤道場
圓心道場
講道館
(一財)サニックススポーツ振興財団
全日本空輸(株)
手塚道場
東海大学居合道部
東海大学剣道部
東海大学国際友好会館
東海大学柔道部
東海大学体育学部
東海大学望星学塾
東海大学付属仰星高等学校
東海大学付属市原望洋高等学校
東海大学付属高輪台高等学校・中等部
東京都立青島特別支援学校
東京医科歯科大学
東京農業大学
中條文具(株)
日本福祉大学
(独)日本スポーツ振興センター
練馬区立貫井中学校
秦野交通(株)
濱名道場
(株)ファーストリテイリング
北越高等学校
豆蔵柔道クラブ
(公財)ミズノスポーツ振興財団
(有)明功印刷
山手学院中学校・高等学校
横須賀学院高等学校
横浜雙葉中学高等学校
了徳寺大学

支援者

Carius Evma	井坪 圭佑	大木 寛	川崎 剛
相澤 崇紀	泉脇 茂太	大木 恵	河原 八洋
相田 邦彦	射手矢 岬	大久保 剛	川畑 弘志
相戸 和歌子	井出 博	大熊 孝江	川本 謙
青木 愛	出光 芳秀	太田 光昭	河本 秀夫
青木 寶久	伊藤 康成	大坪 明吉	神田 由美子
赤尾 達弘	伊藤 吉治	大貫 豪	菊地 哲雄
赤坂 文彦	稲垣 英樹	大沼 真司	菊池 正敏
秋本 徹	稲葉 眞次	大野 耕太郎	菊地 義雄
上水 研一朗	稲葉 泰三	大原 尚喜	岸本 周平
上水 富美雄	稲葉 三男	大矢 恭嗣	喜多 憲一
浅川 郁夫	井上 明	岡 裕史	北 徹朗
浅田 厚志	井上 康生	岡泉 茂	北 裕吉
朝田 宗土	井上 昌之	岡田 武史	北川 あきみ
浅野 哲男	井之川 義明	岡村 和美	北里 光司郎
朝飛 大	猪木原 孝二	岡本 榮八郎	北島 進
朝比奈 一彦	今井 彰	岡本 美臣	北島 司
芦田 義徳	今井 國男	緒方 林太郎	北見 敏明
東 泰宏	今井 孝久	小川 郷太郎	橋川 義弘
東井 克彰	今井 勉	小川 正統	木下 宗亮
安達 良平	今井 則良	沖田 陽介	木下 隆廣
吾妻 裕之	今村 哲也	小栗 眞理子	木下 浩典
穴井 秀房	井本 英二	小黒 慧八郎	金 慶樺
油屋 康	岩川 武久	桶谷 忠司	木村 清徳
阿部 興治	岩崎 勝一郎	桶谷 至宏	木村 昌彦
阿部 実	岩崎 昭夫	尾郷 良幸	木元 伸一
阿部 豊	岩崎 安孝	長田 渚左	清川 伸夫
天田 敏勝	岩澤 一男	小澤 佐介	楠本 浩之
綾部 芳信	上定 秀人	小澤 浩子	朽木 淳司
新井 義一	上田 重隆	小澤 雄二	工藤 喜代廣
新井 秀啓	上田 博茂	小田 明美	熊谷 京子
荒川 享	上野 誓子	小田 全宏	熊木 〆一
荒木 栄吉	上野 念	小野 宗一	栗林 誠良
荒木 尚	植村 真太郎	小野 亨	車 耕作
荒木 剛	植村 健次郎	小濱 直彦	黒岩 祐治
粟田 省三	植村 千賀子	恩田 和也	Genden Baterdene
安藤 博美	植村 雅子	恩田 哲也	小泉 広治
飯島 照人	植村 美香子	甲斐 甚一	小泉 康長
飯田 正樹	牛久保 浩法	甲斐 康浩	小出 将恵
飯田 実	臼井 隆夫	柿崎 博一	神山 久志
五十嵐 福司	臼井 順信	柿谷 清	古賀 和久
五十嵐 茂雄	内田 強	河西 和江	児嶋 泰彦
井口 雅孝	内山 健	柏崎 克彦	小島 庸三
池永 憲貞	内山 幸彦	梶谷 宗範	小杉 丈夫
石井 兼輔	宇津木 妙子	春日 俊	小瀧 徹
石井 勇人	内海 陽子	片岡 安	小田部 満徳
石井 政夫	宇野澤 利男	片桐 徹	小高 登志
石河 勲	梅木 武夫	片淵 則人	小林 英一
石川 哲也	梅澤 拓也	加藤 秀雄	小林 浩一
石黒 靖規	梅津 敏雄	加藤 浩康	小林 さち子
石崎 潮	浦上 裕美	角屋 浩司	小林 剛
石崎 孝久	江頭 翔子	金谷 徳男	小林 富二夫
石田 武	江口 輝	金子 富喜雄	小林 勇介
石月 勝	江口 洋一郎	金子 正志	小俣 幸嗣
石留 靖之	江澤 和美	兼弘 法子	小松 哲彰
石本 智子	江澤 衛	加納 幸喜	小松 斉
石山 隆英	海老 雄二	鎌田 篤孝	小宮山 記祥
泉 和子	海老根 東雄	神谷 眞理子	小村 康子
泉澤 勝	海老原 義英	亀井 孝福	小山 三千生
井田 健爾	遠藤 浩史	蒲原 光一	今野 一幸
市川 廣行	遠藤 昌明	刈田 康夫	今野 華都子
市川 裕治	及川 充	仮屋 茂	呉 雅俊
市原 則之	大川 松枝	河内 智子	五島 昌明
井坪 憲治	大川原 洋	川口 エリカ	

五反田 祝好	関 利彦	大道 隆	長岡 健	比嘉 正彦	松本 邦夫	山崎 立実
後藤 誠一	関坂 秀一	千品 洋一	長島 宏	日高 一雄	松本 勇治	山下 章
後藤 祐一	関根 忍	塚田 信哉	長島 征和	日隈 文	真野 美鈴	山下 巖
後藤 亘	関根 英之	塚田 真希	永田 親則	日比野 弘	丸山 登	山下 勝博
斉藤 和男	瀬戸 和美	柘植 健司	長野 吉彰	檜山 美枝	三浦 照幸	山下 泰裕
斉藤 恒一	瀬戸 憲昭	津澤 寿志	長濱 義和	平田 敦子	三上 靖夫	山田 朗弘
齋藤 康平	仙石 通泰	對馬 武美	永廣 信治	平田 健二	右山 昌一郎	山田 武
齋藤 知久	五月女 欣也	土子 和子	名古屋 大輔	平田 哲幸	水上 孝一	山田 雅子
斉藤 仁	曾田 成則	土子 俊雄	奈良原 肇	平田 まち子	水野 博介	山田 能敬
斉藤 弘子	園部 洋士	土谷 健次郎	成田 憲昭	平野 樹三郎	三橋 秋義	大和 寛
齋藤 眞弓	平 強	堤 貞介	難波 恒代	平野 政敏	光本 恵子	山中 国義
酒井 孝允	田内 基	都築 宏一郎	二階堂 裕	平林 晃	光本 健次	山梨 公良
境野 勝悟	高岡 賢次	津野 正則	西井 康恵	平松 慶	光本 秀行	山野井 秀和
坂田 豊彦	高木 長之助	角田 秀俊	西澤 伸昌	平松 礼二	光本 勇介	山邊 清信
坂田 直明	高木 康	露木 秀昭	西田 和之	廣井 武司	光本 和義	山辺 清作
坂本 翔正	高崎 裕明	鶴田 二三四	西田 芳克	廣川 和宏	南谷 直彦	山本 司
桜井 健一	高波 善行	鶴田 友晴	西村 清邦	廣川 充志	峯岸 光政	山本 金太郎
佐々木 次朗	高橋 晃	鶴山 誠	西森 大	府川 賢次	箕浦 勤	山本 智秀
佐々木 光	高橋 數隆	手島 尚宏	新田 清	福井 鈺之輔	三原 正人	山本 奈緒也
佐々木 秀明	高橋 茂	寺尾 保	新田 実穂子	福井 啓之	三宅 美和子	山本 裕
佐々木 文雄	高橋 利彰	寺岡 直彦	二ノ坂 啓	福岡 精一	宮崎 勝裕	遊佐 兆正
佐々木 行男	高橋 典嗣	寺澤 忍	二本松 敬太	福田 富昭	宮崎 誠司	横内 俊夫
捧 博陽	高橋 洋樹	寺澤 豊志	二村 雄次	伏見 幸男	宮崎 総一郎	横山 比佐夫
阜月 光男	高橋 宏	寺澤 悠	根本 勝美	藤井 清章	宮崎 康洋	横山 貴志
佐藤 光	高橋 康夫	寺山 重廣	野口 正明	藤岡 正樹	宮澤 保夫	吉川 博
佐藤 一郎	高見澤 和夫	出太鼓 俊宏	野瀬 清喜	藤田 一郎	宮下 竣吉	吉川 衛
佐藤 英子	高宮 光敏	樋川 純	野田 雅義	藤田 弘明	宮島 達男	吉田 歩
佐藤 久美子	高山 知久	富裡 史生	登本 茂芳	藤田 博臣	宮脇 百合子	吉田 耕二
佐藤 茂士	武 紘一	戸川 拓洋	野村 佐太雄	布施 孝尚	三好 明広	吉富 久悦
佐藤 良	竹 秀樹	戸坂 繁夫	野村 浩	船木 上次	向井 正剛	米田 豊明
佐藤 拓也	武井 和徳	鳥羽瀬 正一	野村 幸一郎	Britt Gershon	村上 久仁伸	了徳寺 健二
佐藤 宣踐	竹居 邦彦	戸松 泰介	芳賀 孝穂	紅 賀之	村上 繁	林野 宏
佐藤 治夫	竹内 万也	富山 昇司	芳賀 芳浩	宝珠山 卓志	村上 舟美	若居 忠雄
佐藤 真海	竹内 日祥	富山 英明	萩原 剛	星川 慶治	村上 康裕	若濱 むつみ
佐藤 良	竹内 真	戸村 達公	箱岩 亜美	星野 紘輝	村田 正夫	渡辺 一仁
佐野 雅敏	竹内 幹夫	友添 秀則	橋本 久美子	細川 佳代子	村田 稔	渡辺 昭司
サマンサ ベリー	竹内 元彦	豊田 元	橋本 敏明	細川 伸二	村本 豊彦	渡邊 強
猿渡 正市	竹内 康洋	鳥居 功	橋本 龍太郎	細野 久一	村山 隆雄	和田山 英一
紫垣 雅裕	竹下 高榮	内藤 純	蓮見 弘	細野 道夫	村山 晴夫	
重田 清	竹中 右門	内藤 力	長谷川 敬	堀内 義輝	室岡 憲三	
篠田 盛継	竹原 一弘	内藤 優	長谷川 博之	堀内 芳洋	目崎 登	
篠塚 洋一	田島 克洋	内藤 良徳	畑 雄二郎	堀川 匡士	毛利 修	
柴田 豊	田代 光恭	中川 正輝	波多野 省三	本郷 幸男	茂木 七左衛門	
嵐 信彦	多田 功	中桐 亜加根	初野 拓己	本多 正昭	望月 文彦	
島本 誠永	立川 信義	中治 洋一	初見 純一	前崎 宏明	望月 正恵	
下口 哲司	田中 ウルヴェ京	中島 豺	羽生 勇	前田 光範	本原 永淳	
下館 匡人	田中 慶秋	中島 盈男	濱田 初幸	前田 実	森 靖夫	
荘司 裕	田中 孝一	中條 依久雄	濱田 博喜	牧田 和枝	森 靖孝	
小志田 憲一	田中 孝昌	中田 宏	濱野 博臣	牧山 クリストス	森澤 秀一	
白瀬 英春	田中 忠弘	中地 誠志	林 貞男	正木 照夫	守屋 充男	
新原 庸行	田中 昇	中西 スミ子	林 眞琴	樹 秀行	森山 孝臣	
新堀 栄一郎	田中 久博	中西 英敏	林 盛夫	益田 裕次	森脇 保彦	
杉浦 由美子	田中 晶葵	中野 根二郎	林田 健治	松井 昭夫	師岡 文男	
杉本 年光	田中 秀也	中野 由自	原 義明	松浦 浩道	矢野 弘典	
須坂 春樹	田邊 誠	仲間 きく江	原川 敬英	松浦 友未	藪田 敏弘	
鈴木 新	玉川 澄江	中村 英一	原口 謙一	松尾 一男	山内 悟	
鈴木 清光	玉置 宣宏	中村 一成	原口 真次	松澤 三夫	山内 俊之	
鈴木 賢一	玉谷 佳津己	中村 維孝	原田 明夫	松下 真理子	山川 昌也	
鈴木 常夫	田村 浩章	中村 勉	腹巻 宏一	松永 達也	山口 公晴	
鈴木 正人	田村 光行	中村 友三郎	半澤 勝広	松永 大吾	山口 徹	
鈴木 正慶	樽谷 哲子	中村 良三	坂東 雅邦	松野 立	山口 輝義	
鈴木 三千子	醍醐 敏郎	中山 司朗	比嘉 和子	松村 修	山崎 誠	
砂子 克彦	大徳寺 輝昭	長岡 勝巳	比嘉 里衣子	松本 金治郎	山崎 雪江	



総会・その他の事業

「感謝の会」開催、13年間ありがとうございました！

2019年5月30日、東京・品川プリンスホテルにて、「第13回通常総会」及び「感謝の会」を開催しました。

13th General meeting and dinner in honors of our contributors held at the Prince Hotel Shinagawa, Tokyo on May 30th 2019.

13年間、たくさんのご支援をいただき、様々な活動を行うことができました。心よりお礼申し上げます。



たくさんのご支援をありがとうございました！
Thank you very much for your deep consideration and support.



会員・寄付・サポーター

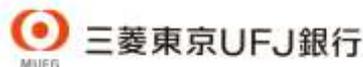
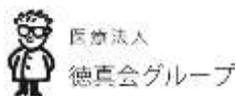
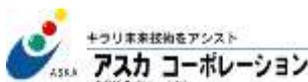
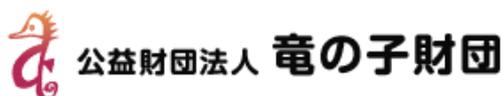
— Members Donations Supporters —

特別支援団体



(学)東海大学、(公財)全日本柔道連盟、外務省、(独法)国際交流基金、スポーツ・フォー・トゥモロー

支援団体



三井物産(株)、(公財)竜の子財団、(株)ゲン・テック・ホールディングス、ミズノ(株)、日本たばこ産業(株)、羽田タートルサービス(株)
 内海晴和企画(株)、秀和ビルメンテナンス(株)、アスカコーポレーション(株)、早川繊維工業(株)、(株)豆蔵ホールディングス、(株)神田製作所
 (公財)東京コミュニティー財団・ファンドクリエーション基金、(株)小松製作所、大成建設(株)、三井住友海上火災保険(株)、(医)徳真会グループ
 (株)三菱東京UFJ銀行

引き続きJUDOsでリサイクル柔道衣・畳を募集しています！

洗濯した柔道衣を上下(帯)をセットにして、本法人事務局宛にヤマト運輸又は佐川急便で着払いでお送り下さい。また、畳をご寄付頂ける団体等がございましたら、事務局0463-58-1211(内線3530・3524)までご連絡ください。

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学柔道研究室内
 NPO法人JUDOs 事務局 宛